

校訓
自律・敬愛・剛健

可愛山同窓会報

発行編集
鹿児島県立川内高等学校
可愛山同窓会
所在地 〒895-0061
鹿児島県薩摩川内市御陵下町6-3
同窓会事務局
電話 (0996) 20-2031
川内高校
電話 (0996) 23-7274



可愛山同窓会の様々な活動状況

可愛山同窓会会長 中俣 知大 (川高20期)



可愛山同窓会の皆様におかれましては、ご清祥にてご活躍のことと存じます。

同窓会会長をお引き受けして四年目になりますが、全国八か所の同窓会組織の皆様がそれぞれの工夫をしながら運営されていることを頼もしく思います。一部を紹介いたしますと、同好会やクラブを作つて同窓会以外でも活動しているところ、参加者名札に中学校名を入れ話題作り役立てているところ、還暦過ぎの同窓生に同期生名簿を同封して案内するところ、学生の参加費を無料にしているところ、学年幹事による案内ハガキへの手書きコメントを付けるところなど様々な参加者増員の努力がみられ、効果を挙げているようです。先輩が後輩を大切に、後輩が先輩を頼りにする姿は同窓会の面目躍如です。

本年は、例年4月16日の川内高校開校記念日に同窓会の中から選ばれた人の講演をいただき、在校生にその活躍を紹介し、励みにもなっています。今年には国学院大学・日本文化研究所教授井上順孝氏（川内高校十八期）をお願い致しました。日本の宗教学・世界の宗教学を究められ、過日のオウム真理教事件ではNHKでの解説に

度々登場されました。テーマは『グローバル時代に宗教文化はどうなる？』で、講演内容は本号に特集されています。今年から始まる海外留学制度を控え、外国人との交流が増える時代を生きる生徒たちの関心は深まったと思います。また、川内高校には卒業25年目と50年目の同窓生が本校の卒業式に招待される素敵な慣習があります。私は昨年その50年目に該当し、卒業生とその横に参列する同級生たちの前で同窓会長の挨拶をする役目でした。同級生たちは孫くらの世代の卒業生を半世紀前の自分と重ねて感無量の表情です。若き青年として卒業したはずが、いつの間にか高齢者の域に入っていることに気づき、早速映画を見ているような気持ちになるのが50年目の卒業式です。これから25年目、50年目を迎える方々は楽しみに待つていくください。

一昨年、無事に創立120周年行事を終え、本校独自の制度である可愛山同窓会奨学金の10年分の資金準備も整いました。また個人的に多額の寄付をいただいた方々のご好意を活かして、クラブ活動援助金制度や、今年を初年度とする海外留学生の補助金制度などに活用させていただく計画です。

可愛山同窓会は東京・関西・福岡・熊本・宮崎・阿久根・鹿児島島の各地と連携し、楽しく集う誇り高い同窓会にしていきたいと思っております。今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。



可愛山同窓会に寄せて

鹿児島県立川内高等学校 校長 白石 秀逸

可愛山同窓会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のことと拝察いたします。また、皆様には、平素から多大なる御支援を賜り、誠にありがとうございます。心から御礼申し上げます。

まず、母校の様子を御報告いたします。昨年九月、三階校舎が惜しまれながら姿を消しました。現在、新四階校舎と五階校舎をつなぐ東側(校庭側)渡り廊下の工事が進められ、今後、中庭、西側(国道側)渡り廊下及び正門周辺の植栽へと工事が進んでいきます。

その旧校舎と新校舎の両方で学んだ第七十一期生・三百十二名の卒業式を、藤川天神の臥龍梅が咲き誇る三月吉日、来賓各位・保護者及び川高二十一期の皆様の御臨席の下、盛大に挙行できました。卒業生は、文武両道取組日本一実現をめざし、学習はもとより、部活動や学校行事、生徒会活動など様々な活動に意欲的に取り組み、すばらしい実績を残して、全国に巣立っていきました。可愛山同窓会各支部の皆様には、それぞれの地域で新たな生活を始める後輩達のこと、よろしくお願いいたします。

次に、新たな事業を立ち上げました。昨年度、東京可愛山同窓会名誉会長職にあられます川高七期の橋口

英後様からいただいた多額の御寄付を基に、その後もお寄せいただいた浄財及びPTAからの御支援を基金として、「川内高校国際交流プログラム」に取り組んでいきます。去る三月十八日には、第一回海外派遣研修会の一環として、東京大学修士一年の留学生トロイ・ステードさん(ニュージージーランド出身)を講師にお招きし、七限目に二年生全員へ、放課後には一・二年生の希望者を対象に研修を積みまし。新年度から校務分掌の一つと位置づけ、四月下旬には海外派遣希望者への説明会を実施し、下見を行った上、八月にイギリスへ派遣します。詳細については、改めて御紹介いたします。

そして、いよいよ今年七月末から八月にかけて、高校総体バスケットボール競技が薩摩川内市を中心に開催されます。地元の期待は日に日に高まってきています。バスケットボール関係者にとつては大きなプレッシャーであるとは思いますが、選手・役員の皆様への激励を込めて、ラグビー日本代表チーム・ジョセフHCの「このプレッシャーをみんなのプレッシャーに変えたい」(グループ抽選会にて)を贈り、大活躍を期待したいと思っております。

さて、始業式にて次のようなメッセージをおくりました。

「帆船は風上にも進めるといふことを知っていますか? まっすぐ風上には進みませんが、帆を立てて次第では風上に進むのです。これは、飛行機に働く揚力と同じ原理です。韓流時代劇「馬医」(馬医から研修医に転身し、最後には王様の主治医となる主人公ベクアンヒョンの物語)で、この原理を引用した台詞がでてきます。主人公がそれまでの医療では対処できなかった難病の病因を突き止め、治療に成功した後、師匠がかけた言葉です。

「ここまでよく来たな。海に浮かぶたくさんの船は、みな激しい波風にさらされる。だが、同じ波風を受けても、ある船は東へ、ある船は西へ進む。なぜそうなるかわかるか? 船の向う先は、風や波ではなく、船が上げた帆の向きによって決まるからだ。人生には、多くの試練と困難がある。運命というのは、実に過酷なものでもある。だが、忘れるな。どんなときも、行く先を決めるのは、自分が上げる帆の向きだということ。何があろうとも、今のよう心の帆を高く掲げよ。」

今年はいんターハイが地元で開催され、期待は高まります。川高には悲願というものもあります。皆さんが心の帆を高く掲げ続け、文武でチャレンジし続けることを期待します。」と。

川内高校国際交流プログラムの開始に向けて

鹿児島県立川内高等学校 教頭 春山 隆

川内高校生の国際社会での一層の活躍にむけて、元号が変わった令和元年度から、いよいよ川内高校独自の海外派遣事業が始まることになりました。この事業を「川内高校国際交流プログラム」と名付け、今後毎年、川内高校の生徒達をイギリス・アメリカ・オーストラリアの三カ国に派遣することになります。この画期的な事業が可能になったのもひとえに可愛山同窓会及びPTAからの御支援のおかげです。今後、国際的な舞台で活躍する後輩達の姿が見られることを期待しています。

第一回の派遣先はイギリスで、八月二日から八日まで一週間派遣することになります。その計画の概要をご紹介します。

- 一 滞在先
 - ロンドン及びオックスフォード
- 二 参加人員
 - 一年〜三年生 五名〜七名
- 三 経費
 - 学校負担八割・自己負担二割
- 四 選抜方法
 - 書類・面接・作文・英語試験
- 五 プログラム内容
 - ロンドンに滞在し、大英博物館やバッキンガム宮殿、セントポール大聖堂などの施設を訪見し、イギリスの歴史・文化について英語を通して学習する。またオックスフォードにてホーム



生徒達は、八月二日の朝、新幹線で福岡まで行き、仁川空港を経てロンドンに向かいます。職員二名が引率する予定です。学校単独でこのような事業を実施できる高校は多くはありません。伝統のある川内高校だからこそだと思えます。帰国後は報告会等も実施する予定です。会員の皆様も機会があれば、ぜひお立ち寄りください。

ステイを行い、オックスフォード大学でのキャンパスツアーやロンドンでのB&Sプログラムを通して、現地大学生との交流を行う。

庭で日本語が話されていたからです。両親が外国で仕事をしていたときに生まれ、転勤で外国に行き、長くそこに住んだりすれば、その国が母語になる可能性もあります。日本語が母語だと思ってしまうのは、たまたまそういう環境で育ったからに過ぎないという点に思い至らないということです。



演題 グローバル時代に 宗教文化はどうなる?

國學院大学名誉教授 井上 順孝 (川高18期)

▼思いがけず研究者に 私は1963年に川内北中を卒業し、川内高校に入りました。北中時代は新聞部に所属して、学校新聞の編集に携わりました。高校に入ってから、弓道部に所属しました。1966年に川内高校を卒業し、東京大学教養学部文科Ⅱ類に入りました。大学では少林寺拳法部に入り、主将も務めました。関東大会個人戦で準優勝したのは、懐かしい思い出です。武道館でスポットライトを浴びて決勝戦を闘ったのですが、こういう経験は滅多にできないもので、努力した甲斐があったかなと思っています。

▼宗教は何を研究する? 宗教というのには、一般にはあまり馴染みのない学問です。私が研究してきた分野は細かく言うと宗教学、宗教心理学にまがります。最近では認知宗教学にも関心を持っています。こうした分野は、宗教家になるためのものではありません。宗教の良し悪しを議論するものでもありません。宗教が社会や文化とどういう関係があるかとか、人間の心理とどう結びついているかなどを考えると、ときに宗教を批判的に分析することもあります。

1995年3月には、東京でオウム真理教による地下鉄サリン事件が起きました。このとき、数千人が負傷しました。このときほどして宗教団体が無差別テロなどするのか、多くの人が疑問を抱きました。私は事件が起る4年前、静岡県にあったオウム真理教の本拠地を訪れ、麻原彰晃に面談調査を行なったことがありました。それもあって、テレビやラジオ、雑誌等で事件後たびたび解説を依頼されました。しかし、こうした問題はそんなに簡単に説明できるものではないし、その背景を調べるのも容易ではありません。

▼宗教はなぜある? 宗教はこの世にもあります。似たような観念や儀礼があったりしますが、それぞれに特有な戒律や儀礼があったりもします。最近では日本でもイスラム教徒(ムスリム)を見かける機会が多くなりました。東京の町を歩いていると、スカートをかぶったイスラム教徒らしき女性(ムスリマ)を見かけることが珍しくありません。

▼宗教はどの民族も生み出した文化 少し話を広げましたが、宗教の研究は特殊な分野ではないということを示したかったのです。人間は文化を発展させ、音楽をよびやべり、文学を描きます。戦い方を学ぶと同時に、スポーツも生み出しました。社会のルールとして、やってはいけないこ

とを決めます。法ができます。宗教はそうした人間の作り上げた文化の一つの側面です。神を信じるようになったり、祖先の霊魂とやらのような精霊が生み出されます。樹木や花には精霊がいるという考えも生まれ、悟りを得ることが人生の目的だという考え方も生まれました。

日常生活で強く禁じられたことは、戒律というものを生み出したことでした。ユダヤ教やイスラム教などに比べると、日本の仏教や神道には、さほど強い戒律は見受けられません。しかしお葬式のときに派手な服装はしませんし、葬儀に来た人には浄め塩を配るなどします。結婚式を仏滅に挙げるのを避けたり、披露宴のときに「割れる」とか「裂ける」という言葉を使うのを避けたりします。これは日本独特の習慣です。

それぞれの国や民族にあるこうした独特な考え方は、親から子へと、共同体のルールとして、あるいは教団というシステムを通して、後世に伝えられてきているのです。

いろんな家庭があり、いろんな共同体があり、いろんな宗教がある中で、ずいぶん変わった考え方も生まれました。しかし、多くの人が信じてきた宗教やイスラム教などは、その代表例です。こうした宗教を信じている人たちが、どんな戒律を守っているのか、どんな儀礼を行なっているのか、何をもちも大事にしているのか、そういうことに注意を払わなくてはいけない時代になりました。グローバル時代の到来です。

▼宗教文化教育

そんな時代になったことを感じて、私たちは2011年に「宗教文化教育推進センター」というのを立ち上げました。国立や私立の大学で宗教研究をしている大学教授数十人が中

心になって運営しています。私は今のセンター長をしています。この3月には問題集も刊行しました。「解きながら学ぶ日本と世界の宗教文化」(集英館)というタイトルの問題集が、いろいろな知識や考え方を養おうというものです。

日本は間違いなく、これから多様な宗教文化の混在する社会になります。それは人の移動についての統計を見れば明らかです。宗教の広まりや影響は、人の移動や情報発信に依存します。21世紀になって、日本を訪れる外国人の数は急速に増えていきました。私が高校2年のときでしたからよく覚えています。この年に日本を訪れた外国人の数はわずかに20数万人です。ところが2018年には3千万人を超えました。2桁違いです。百倍以上ということですね。

そして問題は、その内実に、東南アジアからやってくる人が急激に増えたことが注目されます。東南アジアは多様な宗教があります。日本人にあまり馴染みのないイスラム教もインドネシアで9割、マレーシアやオーストラリアで信者が、タイやラオスは仏教国ですが、日本が大乗仏教の対し、これらの国々では上座部仏教。お坊さんの戒律はだいぶ厳しいです。インドの人口の8割はヒンドゥー教徒ですが、東南アジアにもヒンドゥー教徒がいます。

こうした今まではあまり日本人に馴染みの薄かった宗教を信じている人が観光客として訪日したり、留学生として住んだり、労働者として住んだりします。宗教のことは知らなくていい、というわけにはいかなくなってきているのです。

私は学生たちに対し、「宗教は生き物である」という言い方をよくします。宗教は決して固定的な姿をとっていないのではなく、時代や地域によってどんな姿を変えていくからです。先ほどの明治時代における仏教の変容の例もその一つです。

キリスト教も実はカトリック、プロテスタント、オソドックスの3つの大きな流れがあり、プロテスタントは数百、数千の細かな教派に分かれます。国によってキリスト教のあり方も異なります。

周囲がイスラム教徒ばかりの国で育った人が日本にくると、彼らは突然少数派の立場に置かれます。自分たちが特別な行動をしているとみられることに気がきます。稀には豚の美味しさやお酒の魅力に心を奪われる人も出てきます。

宗教が姿を変えようというときは、宗教文化は時代や社会によってさまざまな形態をとるということでもあります。

多くの宗教文化が一つの社会に混在する割合が増えたのがグローバル化の時代の特徴の一つです。そこでは、今までに比べると、きわめて容易に一つ一つの宗教文化が相対化されてしまっています。自分の信仰のあり方は、数多くある信仰の一つであるということに気がかざるを得ないからです。これはどの宗教にとっても同じです。

さらに今は情報時代です。一つの宗教を信じている人も、別の宗教の教えや儀礼、あるいは宗教を否定する人の考え方に接する機会が多くなります。そうした人たちは情報的やり取りをしないと生き方を支える人たちもいます。でもそれではギリシャクするだけです。

▼異なるものを見て自分を知る

最後に今日の話は自分にはあまり関係がなかった。自分は信仰をもっていないし、これからも持つことはないと思っているような人に伝えたことがある。あなたは初詣をしますか？墓参りはしますか？先祖の霊は自分を守ってくれているという考えをもったことがあると思いますか？

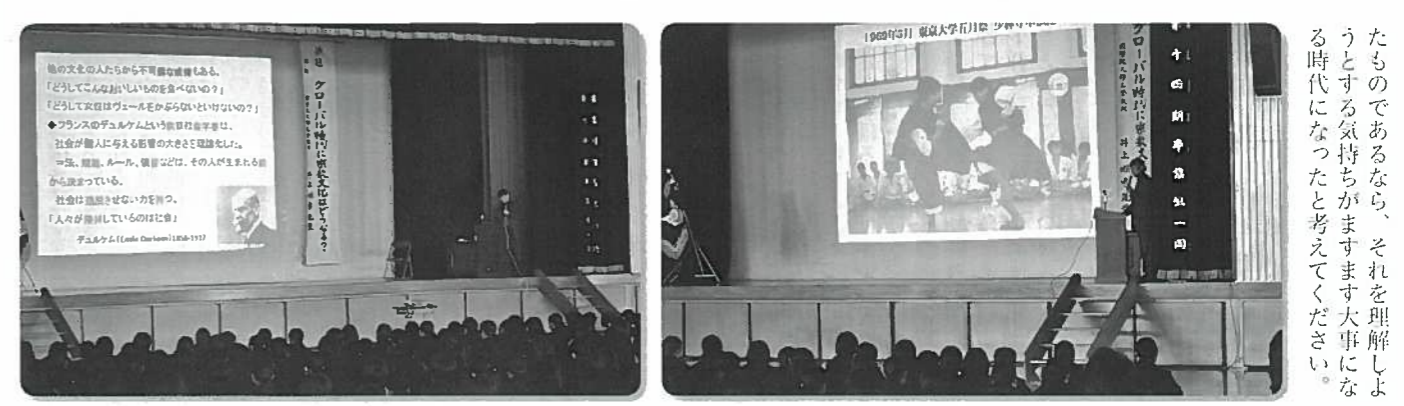
このどれかに「はい」と答えるなら、あなたは宗教とは無関係の生活を送っているわけではないことに気付いてほしいと思います。神や仏の存在をすつかり否定するのなら、初詣やお賽銭をあげるなど、馬鹿馬鹿しい行動になります。霊魂やあの世の存在を完全に否定しているなら、墓参りも何の意味があるでしょう。

ほとんどの日本人は、七五三のお参りをしたり、魔除けのお札を貼ったり、厄除けをしたりします。面白いのは、キリスト教徒は人口の1%しかいないのに、結婚式となると、キリスト教式を選ぶ人が半分以上いるということですね。

外国人の人たちからすると、日本人がなぜこんなことをするのか不思議に思うかもしれません。実際、外国人の記者から、日本人はどうして神も仏も一緒に拝むのかという質問を受けたことが何度もあります。日常的にやっている宗教的な行為が、実は一番相互理解が難しいのです。

戒律とか儀礼とかは見えやすい宗教文化です。何に注意したらいいかは、少し学ぶとある程度は理解できます。しかし日常生活の中に埋め込まれた宗教習俗は見えにくい宗教文化です。これは「隠れたコード」と言ってもいいです。本人にも自覚されていないので、これがかえってトランプの元になったりします。

異なった宗教文化との共存を拒むなら、そこには争いとか憎しみとか待ち構えています。自分に馴染みのない宗教文化でも、それが多くの人びとによって長く受け継がれてき



平成31年度
創立記念日講演会
感想文

3年 池林 匠吾

井上先生は川内高校で文武両道を実践され、難関とされる東京大学進学を果たされ、現在も大学の名誉教授をされています。素晴らしい実績をお持ちの先輩からお話を伺うことができ、とても貴重な経験となりました。

今回の演題は宗教に関するということですが、僕はこれまで宗教について基本的に厳しいものだったり、人の心に悪い影響を与えるものという薄イメージしか持っていませんでした。しかし、宗教は世界中に存在し、各地の信者の生活に深く根付いているもので、不可欠なものと感じている人が多くいるということ、宗教上の問題があることで、世界に多大な影響を与えるなど、学ばば学ばば奥が深いものだと感じました。また、宗教を理解することは異文化を持つ人々とのコミュニケーションの取り方や対立をなくすための相互理解につながるため、宗教について学ぶことはこれからもっと重要になっていくと思いました。

今回学んだことは、日頃なかなか知ることができないことが多く、このような機会を与えていただいたことに感謝しています。

2年 平 花織

今回の講話を聞いて、宗教と私たちの深い関わりを学ぶことができました。今まで私は自分の中で宗教はあまり関わりのないものだろうと考えていましたが、講話を聞いてその考えが変わりました。また、初めて知ることも多くありました。

初めて知ったことの一つは、宗教にたくさんの分野があるということ。宗教が社会や文化にどう関係しているのか、人間の心理とどう結びついているかなどを考えていくのは、とてもすごいなと思いました。

それぞれの宗教にはそれぞれの戒律があり、それぞれの教徒はそれを守っています。これは「たまたま」という条件が大きく働き、その「たまたま」のあり方は時代によって異なることを理解する必要があると思いました。社会のルールや文化によって、私たちはどう考え、どう行動するかが決められていくことに気づき、他の文化に基づく考え方や行動に対する寛容な見方ができるようにしたいなと思います。

隣国の人々へのヘイトスピーチを平気でやるような人々にならないうように、「たまたま」という条件の働きをしっかりと理解し、最新の遺伝子研究が明らかになっていることについて、深く知っていくことが必要だと思いました。

宗教によって、現在の社会や文化があるということを理解し、異なる宗教文化との交流を拒むのではなく、積極的に交流したいです。

輝け大学一年生



広島大学教育学部
中園 亮

この春、広島大学教育学部第一類初等教育教員養成コースに合格しました。合格できたのは両親・先生方・友人を始めとする私を支えてくださった全ての方々のおかげです。また、可愛山同窓会の方々に、川内高校学生として奨学金を支援して頂き、感謝しています。本当にありがとうございました。

私は一年から部活動に励みながらコツコツと勉強に取り組みしてきました。宿題で分からない



熊本大学工学部
上野 翔太郎

この春、熊本大学工学部材料・応用化学科に合格することができました。合格できたのは、家族や先生方、友人をはじめ、今まで私を支えて下さったすべての方々のおかげです。また、私を川内高校学生として選出して下さった、奨学金により支援して下さいました可愛山同窓会の方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

川内高校での日々は密度の濃いもので、三年間は瞬く間に過

問題があると、教科書で調べたり先生や友達に質問したりして納得いくまで取り組みました。また、様々なテストでは見通しを立てて勉強に励み、毎回全力を尽くすように努めることで力が付いていったと思います。

三年になり、部活を引退してからは、放課後活用や空き時間の使い方を考え、登下校時などの隙間時間を上手に使って勉強するようにしていました。特に、受験生にとって貴重な夏休みはこの隙間時間に英単語や世界史の年号を覚えるなど工夫して勉強時間を作ること、応援団の練習にも全力で取り組むことができました。受験に向けてひたすら勉強する毎日でしたが、苦しいと思うことは何度もありましたが、そんな時私を支えてくれたのはクラスメイトの存在でした。私は休日も学校に来

て勉強していましたが、教室には毎週必ず頑張っている仲間がいました。そんな仲間と共に頑張っていることが自分の中でモチベーションに繋がっていました。昼になったらご飯をみんなで食べた話したりしながらわいわい過ごして、勉強する時は黙々と集中する。この静と動の切り替えができるクラスメイトがいてくれたおかげで自分もメリハリのある学校生活を送れたのだと思います。私にとってクラスメイトはかけがえのない存在でした。

川内高校で過ごす三年間は、とても充実した毎日でした。素晴らしい先生方、先輩方、友人と過ごした日々は最高の思い出ばかりです。

大学生になっても、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきたいと思っています。

りましたが、受験が終わってみると、先生方も必死に私たちの進路実現のために最適な方法を考え、おられたのだと分かりました。そんな中でも先生方は、私に質問をしたときには丁寧に説明を下さっていました。また、休日に学校へ自習に行った時には、暗くなるまで教室に残って勉強しているクラスメイトもいて、自分も負けていけないと思うことで、一人で勉強するよりも長く集中することができました。

卒業したばかりで様々な想いが込み上げていますが、間違いなく川内高校での日々はかけがえのないものになりました。この日々を作りあげて下さったすべての方々への感謝を忘れず、自分の将来の夢を叶えられるように、これからも努力していこうと思います。

ていないし、これからも持つことはないと思っているような人に伝えたことがある。あなたは初詣をしますか？墓参りはしますか？先祖の霊は自分を守ってくれているという考えをもったことがあると思いますか？

このどれかに「はい」と答えるなら、あなたは宗教とは無関係の生活を送っているわけではないことに気付いてほしいと思います。神や仏の存在をすつかり否定するのなら、初詣やお賽銭をあげるなど、馬鹿馬鹿しい行動になります。霊魂やあの世の存在を完全に否定しているなら、墓参りも何の意味があるでしょう。

ほとんどの日本人は、七五三のお参りをしたり、魔除けのお札を貼ったり、厄除けをしたりします。面白いのは、キリスト教徒は人口の1%しかいないのに、結婚式となると、キリスト教式を選ぶ人が半分以上いるということですね。

外国人の人たちからすると、日本人がなぜこんなことをするのか不思議に思うかもしれません。実際、外国人の記者から、日本人はどうして神も仏も一緒に拝むのかという質問を受けたことが何度もあります。日常的にやっている宗教的な行為が、実は一番相互理解が難しいのです。

戒律とか儀礼とかは見えやすい宗教文化です。何に注意したらいいかは、少し学ぶとある程度は理解できます。しかし日常生活の中に埋め込まれた宗教習俗は見えにくい宗教文化です。これは「隠れたコード」と言ってもいいです。本人にも自覚されていないので、これがかえってトランプの元になったりします。

異なった宗教文化との共存を拒むなら、そこには争いとか憎しみとか待ち構えています。自分に馴染みのない宗教文化でも、それが多くの人びとによって長く受け継がれてき



25年目・50年目の青春 第71回 卒業式

五十年後の卒業式

(川高21期) 田中 実

川内高校の恒例行事、「卒業五十年目に卒業式に出席する」という年齢に自分たちがなり、昨年六月に第一回目の幹事会を開き、同級生の皆さんに平成三十一年三月一日にある卒業式に招待があることを事前にお知らせし、詳細は後日改めて出すことになりました。その後、学校から「川内高校第七十一回卒業式」への招待の案内を頂いて幹事十数名で話し合いを重ねて、「前夜祭」、「卒業式参加」、「五十年目の同窓会」、「一日観光とゴルフ」等を計画しました。また、卒業式当日母校へ寄付をすることとして、皆さんから募金することも決め当初の予定通り十月末には皆さんに正式な案内状を送りました。

皆さんから返信をいただき、募金もたくさん集まりそれぞれの担当者が最終確認を済ませていよいよ今回のイベントがスタートいたしました。前夜祭には遠くは青森をはじめ、関東、関西、九州内から駆けつけてくれた方々と地元在住の約五十人が参加して旧交を温め、翌日の式に臨みました。三月一日、卒業式当日。集合場所の同窓会館受付で可愛い後輩たちに胸章をつけてもらい同級生が集まってきました。「やあ、久しぶり!」「あや、だれけ?」などの声が聞かれる中、在校時五百二十名余りいた仲間のうち百八名が参加いたしました。それぞれが旧交を温める中、「川内高校卒の」係りの先生の誘導で会場の体育館に案内されました。

五十年ぶりの川内高校

(川高21期) 増満 四男

平成31年3月1日、第71回鹿児島県立川内高等学校卒業式に参列させていただきました。同校卒業50年という節目に恒例の招待を受け、第21期卒業生108名が地元川内をはじめ、北は青森、東京、大阪など全国各地から駆けつけました。

同日朝9時半、同校に着く。卒業以来訪れるのは初めてである。案内の女子生徒の「おはようございます。」のさわやかな声を聞きながら校門をくぐる。5階建て、4階建ての真新しい校舎が目に見え込んできた。すっかり様変わりしている。集合場所の可愛山同窓会館(これも我々の時にはなかった)に着くと、既にほとんどの者が到着していた。

体育館に移り卒業生の入場を待つ。周りを見渡してみる。体育館自体も建て替えられており、正面には壇が、その右サイドには校歌「自律・敬愛・剛健」の訓示が掲げられている。後ろの2階には吹奏楽部と思われる生徒が楽器を手に卒業生を待ちうけている。我々の時にはなかったものである。午前10時。吹奏楽部(?)の演奏に合わせて卒業生が入場してきた。校歌斉唱に始まり卒業証書が白石校長から312名8クラスの代表に手渡せられた。その後校長式辞があり、「心の帆」を高く掲げ続け、それぞれの道を突き進んで欲しい...」などのお言葉に聞き入っていた。また「自律・敬愛・剛健」が校訓であることも校長式辞の中で初めて知った。この後集計委員会報告、祝辞が述べられた。式中卒業生は常にキビキビしており、我が後輩として嬉しくも有り、誇らしくも思えた。多分世の中の荒波にあっても白石校長が述

卒業生一人一人が名前を呼ばれて「ハイ」と返事をして起立し、各クラスの代表に白石校長先生から卒業証書授与。仰げば尊し・校歌もしっかりと歌って、卒業生も在校生も礼儀正しく式に参加している姿を見て、これこそが伝統あるわが母校の卒業式、参加者の中には目頭を押さえている人もいて本当にすがすがしい気持ちで臨席をさせていただきました。

最後に会場で、我々二十一年期の有志から母校への寄付を手渡ししました。この寄付は、毎年在校生への奨学金の一部に使われているとお聞きしました。式終了後、新しくなった校舎をバックに全員で集合記念写真を撮影して五十年目の卒業式を終えました。いよいよ同窓会。会場の受付のテーブルにはクラス毎に名札を並べてあります。名札は卒業アルバムからコピーした当時の本人の写真と貼付けたモノを準備致しました。時の流れが顔と名前を一致させてくれません。名札の写真を見て本人確認ができたところもあつたようです。ウクライス毎のテーブルにみんながそろそろ頃には当時の思い出話でそれぞれ盛り上がり上がっていました。あつという間に時が過ぎ、みんな「校歌」を歌って同窓会を閉めました。二次会までほとんどの方が残りカラオケ等で楽しみ最後「高校三年生」をうたって閉会しました。翌日は「肥薩おれんじ鉄道で行く遠足」と「ゴルフ」を楽しみ今回の全日程を終えました。

最後になりましたが、お世話頂いた先生方、同窓会事務局長、そして生徒の皆様には心から感謝いたします。

べられた「心の帆」を持ち続け、乗り切っていけるだろう。卒業式という独特の雰囲気もあるのだろうが、あまりの素晴らしいことに目頭が熱くなるのを覚えた。式後あちらこちらから「泣きそうになった」と声がかえってきたところを見ると感極まったのは自分だけではなかったようだ。

閉会式の後、21期卒業生を代表して田中実君から白石校長へ寄付金が手渡された。予定額を大きく上回り、川内高校の未来に貢献できて、同期のひとりとして嬉しく思った。

最後に中庭での記念撮影があり、第21期同窓会会場の市比野のホテルグリーンヒルへと向かった。

卒業式の二十五年後

(川高46期) 大田 泉

この度の招待で高校を卒業して25年も経ってしまったのか、と月日の速さに驚愕しました。

今回の案内はFacebookで行われました。その為、同期の卒業生389名全員に連絡が回るはずもなく卒業25年目ともなると働き盛りで忙しい方も多く、年度末ということもあり等々...。46期卒業生の参加は私一人で。偶々私が46期卒業生を代表して参加した、と考えております。(帰省ついでに会った友人皆が私からの連絡で初めて卒業式への招待を知ったのは「ご愛敬」ということで)。

あの頃と変わらない制服を身に纏った皆さんを見てうれしく思い、又校歌も案外覚えていたものだなと感心しました。今回高味先生に25年ぶりにお会いでき、知った人が一人でもいよかったです。川内高校のますますの発展を祈願します。

進路指導部だより

進路指導主任 上高 恵介

鹿児島県の高校入試の出願倍率を見ると、本校は定員を満たしていない状況が続いているが、他の地方校には見られない特徴がある。学区外の志望者の多さである。定員の二割、つまり三十二名の定員を毎年のように超えて入学している。地元生徒だけでなく、川内高校で学びたい、部活動も頑張りたいと強く希望する生徒が県内各地から集まって共に日々精進している。これは、「文武両道取組日本一」を目標に掲げ、実践してきた本校の一つの成果であろう。

今年の卒業生は、全国高校総体に出場した男子バスケットボール部や漕艇部や陸上部の生徒たちの中から広島大学や鹿児島大学などの国立大学に進学を決め、文武両道を実現して見せた。また、NHK旗で準優勝した野球部員たちは、現役生はもちろん浪人生も含め、多くの生徒・卒業生が国公立大学等への進学希望を実現させた。さらに、大阪大学や九州大学、鹿児島大学医学部医学科に進学した者も、それぞれが運動系・文化系の部活動でも活躍した生徒たちであった。

また、ほとんどの生徒が大学入試センター試験を受験し、それぞれの進路目標達成のために努力を最後まで続けた。たとえ、高校卒業時点では希望が叶わなくても、高校で積み上げた努力をそれぞれの進んだ道で発揮し、いろいろな大学や専門学校等から本校の卒業生は高評価を得ている。高卒で就職し、社会にいち早く飛び込んで行った者もいるが、川内高校で学んだ様々なことは今後の人生で必ず役に立つと確信している。

大学入試センター試験が今年度で終わり、現二年生からは大学入学共通テストが始まる。学力だけでなく、主体的に問題を解決する力が社会でますます求められるようになり、本校では「課題探究」や「ディベート」等を総合的な学習(探究)の時間の中で行っている。新しい歴史を創る若人が、これからは川内高校から羽ばたいていくことを願う。

鹿児島県立川内高等学校

Table with 4 columns: 私立短大, 現, 週, 計. Lists various private short-term universities and their enrollment numbers.

Table with 4 columns: 就職等, 現. Lists various job positions and their counts.

Table with 4 columns: 私立大学, 現, 週, 計. Lists various private universities and their enrollment numbers.

Table with 4 columns: 準大学校, 現, 週, 計. Lists various preparatory schools and their enrollment numbers.

Table with 4 columns: 準短大校, 現, 週, 計. Lists various preparatory short-term universities and their enrollment numbers.

Table with 4 columns: 専修・各種学校等, 現. Lists various vocational and specialized schools and their enrollment numbers.

平成31年3月 卒業生進路別合格状況

Table with 4 columns: 国立大学, 現, 週, 計. Lists national universities and their enrollment numbers.

Table with 4 columns: 公立大学, 現, 週, 計. Lists public universities and their enrollment numbers.

Table with 4 columns: 国公立短大, 現, 週, 計. Lists national/public short-term universities and their enrollment numbers.

Table with 4 columns: 私立大学, 現, 週, 計. Lists private universities and their enrollment numbers.

Table with 4 columns: 公立短大, 現, 週, 計. Lists public short-term universities and their enrollment numbers.

可 愛 山 同 窓 会

各地区の同窓会の取り組みを取材形式でお知らせします。

東京可愛山同窓会

第53回総会は平成30年6月2日(土)霞ヶ関の東海大学校友会館にご来賓6名を含め、総勢168名の出席のもと開催されました。

阿久根がらつば会

我が「阿久根がらつば会」は当時、出水・阿久根・西方地区から旧制川内中学に勉学の志を立てて汽車通をされた若者たちが集い、昭和35年に発会した今年で59年目となる歴史ある同窓会であります。

関西可愛山同窓会

今年の関西可愛山同窓会は、後記のとおり、開催されます。今年も、もはや恒例行事になった若手落語家の落語を聞く会を、総会に先立って行います。

熊本可愛山同窓会

熊本地震から3年経ち、桜の名所の熊本城も復旧が着々と進められています。熊本可愛山同窓会は、平成30年度総会を昨年11月25日(日)、中俣同窓会会長をはじめ、同窓会本部からもご出席いただき、賑やかに開催致しました。

福岡可愛山同窓会

創立五〇周年記念事業を展開 福岡可愛山同窓会会長 新留 育郎(第17期) 当会は昨年、創立五〇周年を迎え、



同 可 愛 山 同 窓 会 50周年記念式典・祝賀



鹿児島可愛山同窓会

東京オリンピックは来年4年に1度の祭典。私が高校3年の昭和39年、講堂にTVが設置され視聴 確か白黒からカラーになった。

鹿児島は例年2年に一度、11月第1土曜日に総会懇親会。おはら祭りの前夜祭本祭と重なり参加者が減少傾向。前小島会長が2018年から11月第2土曜日と変更された。2018年11月10日、講師に鹿児島純心女子大の崎山泰孝さん(13期)を迎え「子どもの絵に学ぶ」。子どもの絵には年令ごとに特長がある。描いた気持ちを聞くと新しい世界が見えてくる。100人を超える会員納得の講演であった。

私が同窓会に初めて参加したのは、同期幹事の西岡君(県庁マン)から度々の案内葉書にあった。それ以来毎回参加。卒業以来久しく会えなかった友人と再会。年々増え17期はトップの参加人数。そして、各期で会合を重ねている。県外から同期帰郷の際は杯を重ねる。これが絆というのか! エノウ(可愛山)事務局を勤める県庁の盛り上げ隊に支えられている。



県庁可愛山同窓会

会長 濱田 学(高32期) 県庁可愛山会本部から唯一公認された職域の同窓会で、出先を含

む県庁に勤務する行政職の職員約160名で構成しています。

総会は、本部同窓会の会長や母校の校長先生をはじめ、多くの来賓をお迎えし、毎年8月に開催しています。質疑を受け付けられない役員改選後、同じ県庁職員とは言い口頭接点の少ない職員間でも、県政発展のために焼酎を交えた真剣な議論を行っています。賞品数限定のビンゴゲームや百門玉持参のし、年一回の交流を楽しまれています。

当会員数は、退職者数に比べて新規入庁者が少ないことから、減少傾向です。県庁では職員採用に当たり、新規卒卒者だけでなく民間企業等職経験者も含まれています。同窓生の皆様も応募され、我々の仲間になりませんか。



本部可愛山同窓会

平成三十年八月三日(金)十八時三十分、可愛山同窓会各支部役員、前川内高校校長様を来賓に迎え、総勢三百七名の参加者で開催いたしました。

堂達実行委員長(川高二三期)の挨拶から総会議事、役員の一部改選を承認後、川内高等学校創立百二十周年事業橋口実行委員長の謝辞を受けた後、これまで母校に篤志を寄せて頂いていた濱田展至様、故杉本康夫様を紹介、遠方よりご参加を仰いだ濱田様に白石校長から感謝状を贈呈、懇親会・抽選会と進み、次年度総会実行担当期二十四期代表

川内高校野球部創部120周年記念を迎えて

川内高校野球部OB会会長 福田 洋二(第25期)

私は、松元洋二(故人)前OB会長を引き継ぎ4年目になりました。先輩諸氏が多くおられるな力不足ではありますが、お手伝いをさせていただきます。

さて、そんな私ではありますが、何かできることはないかと考え野球部の歴史をあためてみることにしました。野球部自体の活動(創部)はいつからだったのかわからない学校等に資料を探していただく依頼にも伺いましたが、明確なものはありませんでした。そこで鹿児島県高等学校野球連盟発行の県の野球史「白球に魅せられて」に目を通すと、第一回県下中学校連合野球大会が明治36年に開催されたこと、我が川内高校の前身である川内中学校が創部したことが掲載されており、そこには当時の出場選手9名の名前と写真まで紹介されており、そのことから可愛山同窓会の名簿等と照らし、選手の名前が明治37年に卒業(当時は5年制度)されていること

の鶴岡氏の挨拶で閉会いたしました。今年、令和元年総会となる節目の年で、昨年から課題となっていた「週末開催」の是非について、年明けから実行担当幹事による意見交換会、二月の本部役員会で週末開催を決定。

八月十日(土曜日)十八時三十分からホテルオトリで開催する準備に入っています。大勢の参加をお待ちしております。

女子バレーボール部

挑戦 黒瀬 乃歩

川内高校女子バレーボール部は、3年生11名、2年生9名に新しい1年生6名を迎えて、日々校内体育館や薩摩川内市ひまわり友あい館を使用し練習に励んでいます。

地区大会優勝、県大会では強豪校を圧倒し上位進出することを目標とし、文武両道を掲げている学校なので練習時間は長くはありませんが、短い時間で内容の濃い練習にすることを心がけています。目標を達成するために、練習中でも常に試合を意識し練習のための練習にならないよう、また一つ一つのプレーが大事な競技なので一つ一つよく考えながら丁寧にプレーするように心がけています。

私達らしくプレーし、普段お世話になっている先生や保護者の皆様、周囲のいろんな方々への感謝の気持ちを忘れず、少しでも恩返しができるように良い結果を残したいと思います。これからチーム一丸となって精一杯努力し頑張っていきたいです。今後とも、ご声援を宜しくお願いします。



女子ソフトテニス部

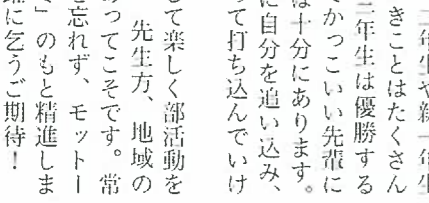
「克己戦尽」 南 真鈴

女子ソフトテニス部は3年生七名、2年生四名の計十一名で顧問の中峯先生、主に学校や御陵下のコートで活動しています。

私たちは、地区大会優勝、県大会ベスト8を目指して、部員十一名という少ない中、日々練習に励んでいます。しかし、私自身まだまだ練習が甘いなと思うことが多くあります。目標を達成するには、きつい練習もたくさんしないといけないし、声出しや集中力が必要となるので、もっと女子ソフトテニス部全員が強い意志を持ち、自分にも周りにも厳しく一致団結していければ良いと思います。

三年生は、最後の総体まで残り二ヶ月を切りました。短い練習の中ですが、成長していくのはまだまだこれからであり、二年生や新一年生にも伝えておくべきことはたくさんあります。三年生は優勝するチャンス、そしてかっこいい先輩になれるチャンスは十分にあります。後輩たちと一緒に自分を追い込み、一球一球魂を込めて打ち込んでいければ良いです。

最後は、こうして楽しく部活動ができるのは家族、先生方、地域の方々の支えがあってこそです。常に感謝の気持ちを忘れず、モットーである「克己戦尽」のもと精進します。私達の活躍に乞うご期待!



剣道部

文武不岐 大野 秀人

剣道部は、3年生6名、2年生6名に新一年生を迎えて、可愛山武道館の道場にて、日々稽古に励んでいます。

伝統ある川高剣道部は、部訓に「元刃地(こころこち)を掲げて、限られた時間の中で、文武両道はもろろのこと、さらには文武不岐を実践すべく、日常生活から意識して取り組んでいます。

私たちの目標は、大きく二つあります。まず一つは、団体戦での九州大会出場、さらにはインターハイを目指して稽古を積むことです。個人戦での九州大会出場は先輩たちの頑張りのおかげで、二年連続三大会出場しています。しかし、団体戦は平成25年以来、達成できておりません。この目標は、九州を制する者は全国を制す!といわれる剣道の世界では、簡単に達成できるような目標ではありません。しかし、自分たちが出来ることを信じています。もう一つの目標は、剣道を通して、人として成長することです。剣道は、心の鍛錬とも言われるくらい、心の作用が大きく影響します。厳しい稽古を通して、心身を鍛え、礼節を身につけ、誠意を尽くして社会に貢献できるように。剣道は、一人では出来ませんが、相手がいなくてはならないから、剣道が出来ます。規則を正しく守り、相手を尊重しなければ、勝負は成り立ちません。剣道で学んだことを、普段の生活に生かしながら、歴代の先輩方に恥じぬよう、誇りを持って、誰からも応援されるような剣道部として精進していきます。



文武両道 英知を磨く 頑張る部活

漕艇部 藤田 翔夢

漕艇部は、3年生9名、2年生8名の計17名で、顧問の緒方先生、久田先生、外部指導員の井上コーチの指導のもと、平日・休日ともに薩摩川内市レガッタハウスを拠点に陸上

と等から明治32年を創部年とし本年が120周年であることを確認しました。そこでこれを機に、これまでの先輩諸氏の尽力に敬意を表するとともにOB同志の親睦を図り記念式典を開催することにしました。このことがまた現役の選手諸君のより一層の励みとなりOBの皆様の悲願である「甲子園出場」に拍車がかかることを願っております。式典には、OBはもちろん白石校長をはじめ中道監督ほか指導者の先生、また保護者の皆様さらには現役選手の参加もいただき140名ほどの豪華な式典となりました。どうか選手諸君、川内高校にそしてまた地元薩摩川内市に元氣と感動を与えてください。「キバレ野球部」。



平成30年11月24日にホテルグリーンヒルで、漕艇部創部50周年記念式典がOBはじめ現役部員等122人の参加を得て盛大に開催され、半世紀の節目を祝いました。50周年記念のロゴマークも制作し、式典に花を添えました。

茶道部

感謝の心 幸得 愛海



茶道部は、3年生6名、2年生5名、一年生八名の計十九名で活動しています。活動日は、火曜日と木曜日です。他の部活動と比べると少ない活動日ですが、その分一回、一回を大切に取組んでいます。また、茶道部の活動は週一回の学校が多い中で、川内高校はかなり恵まれた環境です。

茶道部の活動の中心は、お点前の習得です。一年次は運びや棚などのお点前を、二年次には茶箱や御園棚などのお点前を学びます。その学びの発表の場が、文化祭や卒業お茶会です。お点前は覚えたら終わりではありません。何度も練習を重ねる中で、お客様に対するもてなしの心や、その心を込めてお茶を点てるのが大切であるということ学びました。

「もてなし」の言葉を胸に刻み、お客様に喜んでもらえる様なお茶会を目標に、日々稽古に励んでいます。私たちがこのように茶道について学べるのも、周囲の方々の支えがあるからだと思います。先生方や先輩方、お茶会に来てくださる方々への感謝の気持ちを忘れずにこれからも稽古を重ねていきたいと思います。

文芸部

「文字に想いをのせて」 松永 巧巳

私たち文芸部は3年生6名、2年生3名の計9名で活動しています。文芸部の主な活動は小説や詩、イラストなどをかき、年に数回文芸部誌を製作することです。運動系の部活と比べると、やはり一般の方々に知られていない部活ではありますが、各々が自分の思いや気持ちを文字やイラストを使い、多くの人に伝えられるように、顧問の先生のご指導のもと創意工夫に取り組んでいます。

ほかの部活動とは違い、定型の練習は必要としていませんが、小説を書くためには人生の経験が大切であると考えます。もちろん、有名な作品を読んで物語の構成の仕方を学んだり、相手に効果よく伝えるための文法や語法を知ることは大切ですが、最終的に自分の小説に込める想いは最終的な価値観や考えからしか生まれません。そのため、決まった練習をこなすのではなく、毎日の生活の中で何を考え、何を感じたのかということに大切にし、自分自身を成長させていくことが文章を書くために必要だと考えます。

作品を作ることを通して、皆さんに想いを届けるとともに、自分自身の成長のために、これから活動に一生懸命取り組みたいと思います。これからは、応援よろしくお願いたします。



第29回 OBゴルフ大会

恒例のOBゴルフ大会が平成31年4月29日(昭和の日)に市比野グリーンヒルカントリークラブで開催されました。

改元を控えた今大会から古田宜稔氏(川高27期)が過去6大会を務めた春田俊一大会会長を継承いたしました。

当日のエントリーは県内外から69組261人が参加でしたが、スタート時刻の7時を過ぎた頃から小雨が！中盤ごろ咲き誇るツツジの花を散らすほどのドンシャ降りの荒天気に、プレーを諦めざるを得ないパーティーも続きました。

団体戦・個人戦の結果は、次の通りです。

団体戦
優勝 高45期 山口知之、大城愛子、竹下浩志他4名
準優勝 23期 第3位 28期 第4位 32期 第5位 29期

個人戦
優勝 坂本 隆也(23期)
準優勝 山口 知之(45期)
第3位 元石 功一(29期)
第4位 室田 憲道(19期)
第5位 波江野 寛(31期)



体育文化後援会へ10万円を寄付

令和元年5月9日(木曜日)、OBゴルフ大会古田宜稔大会会長と森康幸(高40期)様が来校、白石秀逸校長と面談し春山教頭の同席のもとOBゴルフチャリティー金を寄付され、来年の第30回記念大会に向けてホープを述べられました。



ご寄付ありがとうございました。

(敬称略) 平成30年5月1日～平成31年4月30日まで

川内高校奨学会への寄付一覧

川野信子様(川中1期兼弘正雄御遺族)	100,000円
福岡可愛山同窓会	50,000円
長元瑞代、前山佳尚様	10,000円
故松元洋亀ご遺族松元一洋様	100,000円
県庁可愛山会	3,963円
120周年記念事業募金 児玉恭子様他	19,740円
時吉 寛様	60,000円
卒後50年卒業式川高21期卒一同様	500,000円
創立記念日講演会講師井上順孝様	100,000円
合計	943,703円

◆令和元年度奨学生

今年度の奨学生を5月14日(火)開催の川内高校奨学会役員会で3年生6名、2年生5名決定しました。なお、1年生は学内選考会を経て9月19日(木)の役員会で決定し奨学金の支給を行います。

◆平成30年度3月卒業奨学生の進路先

広島大学、熊本大学、佐賀大学、神村学園専修学校、北九州予備校

可愛山同窓会本部・各支部役員名簿

令和元年5月

顧問	山田島 稔	高17期
会長	中俣 知大	高20期
副会長	岩下 晃治	高15期
"	橋口 知章	高26期
"	下妻 昭一	高30期
"	愛川 清	高31期
"	羽田 美由紀	高33期
監事	上村 健一	高24期
"	西田 一彦	高26期
書記	稲本 剛一	高42期
会計	柿内 良徳	
事務局長	丸目 幸雄	高20期

E-mail: s-enoyama@sgr.bbq.jp

会長	山口 健一	高20期
副会長	村田 始昭	高12期
"	有馬 洋一	高21期
幹事長	柚木 卓郎	高20期
副幹事長	中野 助文	高25期
会計	金生 佐代子	高25期

※柚木 卓郎 (0745-32-5979)

会長	浜田 澄彦	高10期
副会長	川野 融	高18期
事務局	村田 誠	高24期

※浜田 澄彦 (090-1513-5419)

名誉会長	橋口 英俊	高7期
会長	桐原 保仁	高17期
副会長	皆吉 典子	高女28期
"	久保 借行	高10期
"	尾曲 博司	高20期
"	皆元 正幸	高24期
"	渡邊 泰久	高26期
幹事長	柏田 かおる	高40期
副幹事長	徳丸 律	高21期
"	石上 さと子	高31期
"	宇都 正信	高44期
"	矢野 英樹	高46期
"	久嶋 香織	高46期
"	山下 晋平	高55期
会計	高城 尚子	高17期
"	植村 健二	高28期
監査	木下 公明	高6期
"	山下 重孝	高22期

※尾曲 博司 (090-4676-3674)

※柏田かおる (090-7949-8038)

会長	小井手 清一	高17期
代表幹事	宮田 和正	高28期
会計	鶴殿 曉子	高43期

※宮田 和正 (096-343-2389)

※は各支部連絡者

代表顧問	福留 久大	高12期
顧問	番月 揚子	高11期
"	泰平 高信	高13期
"	西谷 和武	高14期
"	上西 治志	高17期
会長	新留 育郎	高17期
副会長	寺地 明子	高18期
"	井上 哲	高20期
代表幹事	牧田 隆	高20期
副代表幹事	寺嶋 之博	高34期
"	羽子田 政則	高41期
幹事	紙屋 まり子	高24期
"	影山 裕樹	高31期
"	田中 慎太郎	高40期
"	平山 美徳	高42期
"	大山 健一郎	高47期
"	大内田 佳純	高55期
幹事(監)	園林 龍二	高17期
幹事(総)	田中 耕二	高21期

※新留 育郎 (090-5472-4881)

世話役	濱田 健二	高2期
"	折田 康彦	高3期
"	林 勝次郎	高17期

※林 勝次郎 (0996-72-2075)

会長	石 走 一行	高17期
副会長	武田 恭孝	高14期
"	斎藤 義久	高19期
"	西村 眞理	高19期
"	後藤 孝	高20期
"	堀之内 隆	高22期
"	愛甲 涼子	高23期
"	吉野 純一	高25期
"	川畑 洋一	高27期
顧問	上小鶴 貞子	高女28期
"	橋本 幸雄	高3期
"	安楽 満男	高12期
"	小島 政利	高14期
幹事(総)	濱田 学	高32期

※平石 征志 (090-9561-6587)

会長	濱田 学	高32期
副会長	大園 茂生	高33期
"	原口 義明	高35期
幹事長	上村 清志	高33期
幹事	鍋田 慶一郎	高36期
"	平石 征志	高38期
"	森 能実	高40期
"(書記)	石 走 健吾	高44期
"	徳重 朋幸	高52期
"	上原 隼	高61期
会計	福重 由香	高43期

※徳重 朋幸 (県広報課 099-286-2105)

可愛山同窓会報の編集に四年間携わってきました。会報を手掛けた年は、母校の創立二十周年を真近に控え、周年事業の内容決定から具体的な取組みを進める組織化等の取組み状況をお伝えするため、特集号として発行してきました。この間、卒業生の母校に寄せられる強い思いが高校教職員、同窓会役員並びに歴代PTA役員の結束を強め、記念事業を成功裏に終えたと思っております。今号には、漕艇部五十周年、野球部創部百二十周年、福岡可愛山同窓会五十周年の記念事業の様子を盛り込んでおります。また、令和元年号としての発行になりました。今後は、同期の丸目幸雄様が可愛山同窓会事務局を引き継いでまいりますので、今後とも会員皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。(可愛山同窓会事務局 吉留和男)

編集後記

地歴公民	石塚 克己	(高20期)
校務補助	西田 一彦	(高26期)
英語	高味 浩	(高32期)
寮監	野沢 伸一郎	(高32期)
事務補助	手打 聖香	(高35期)
理科	小原 堅一	(高36期)
事務次長	西園 はるみ	(高39期)
数学科	稲本 剛一	(高42期)
事務補助	川原 祐加	(高50期)
数学科	小原 啓詞	(高55期)
保健体育	土器手 美徳	(高64期)
保健体育	中村 翔平	(高67期)

現在の同窓職員

平成31年4月1日現在